

第3回デジタル研究会打ち合わせ

参加者： 5名

日時：2024年4月14日 10時-11時20分 ZOOM

<打ち合わせ内容>

第3回

- 1、Joomlaアプリの操作説明
- 2、メルマガ エーシーメーカー 説明

→電子回覧板の中身説明

>テストサイトのログイン方法

URL <https://foundtime.sakura.ne.jp/moto-ohkatest>

ユーザー名 motorentest

パス motorentest123

>記事修正の方法

>ボランティアの方はログインし研究してみてください。

>一部編集禁止メニューあります

→メルマガ エーシーメーカー

>記事作成方法

>配信ユーザーの選択方法

>テスト配信しました。

<質問>

1_Q ホームページは、連合会と別に町内会ホームページを作成する意味は何か？

1_ans 現在連合会ホームページがあるが、その中のページに14町内会自治会のホームページを作る事も可能だが、独自催事を入れると連合会のホームページにまとまりがなくなってしまう（ページ数が多くなりみづらい）。各町内会自治会独自のホームページを作り、連合会ホームページからリンクできるようにする事で、簡潔で独自ホームページ内で独自催事の内容を紹介する事で町内会自治会の独自性が発揮できると考えています。

2_CMSは色々あるが、Joomla を選択した理由は何か？

2_ans 基本的に、機能と料金にあります。

・料金として、

CMSには、クラウド型のJimdo と Wixが有名で、セキュリティー管理も不要であるが、独自ドメインを取得する事で年間利用料が約3万円/町内会かかってしまうので利用できない（14町内会自治会x3万円=42万円）。

レンタルサーバー型では、Wordpress と Joomla が無料で利用できるが、レンタルサーバー代金が、約1万円/年/14町内会自治会、更に独自ドメイン料金とセキュリティーソフト、お問い合わせソフトが、約4万円/年/14町内会自治会、合計5万円/年/14町内会自治会 かかる。

・機能として、

Wordpress はブログから始まっており、グループ管理には弱い欠点がある。

Joomlaは、ホームページが基本なので、ログインユーザーの役割別に利用制限がかけられる利点がある。

例えば、全体を操作可能（スーパーユーザー）、メニューの中の記事編集、記事追加、きじ削除が可能、記事編集だけが可能、等を使い分ける事でセキュリティーが担保できる利点がある。

デメリットとしては、基本設定が面倒でITに精通していないと構築しづらい。

3_Q メールマガジンで、エーシーメーカーを利用する理由は何か？

3_ans 基本的に、機能と料金にあります。

エーシーメーカー以外は、有料コンテンツ（クラウド型）になっています。

エーシーメーカーは、レンタルサーバーにインストールして設定を構築する為ITに精通していないと構築しづらい欠点があります。

機能としては、クラウド型と変わりません。

4_Q 今後のスケジュールを教えてください。

4_ans

・第3回（5月）は、CMSの中身とテストサイトへのログイン方法を実践しました。

>第4回は、Joomla テストサイトで実際に記事編集と記事制作

>エーシーメーカーへ本大岡地区町内会連合会参加会長のメールアドレス登録と、テスト配信

・第4回（6月）は、ボランティア22名のグループ分で各町内会自治会のホームページ記事制作とテスト配信

第5回（7月）は、本大岡地区町内会連合会会員へ、配信希望者募集し、配信の実施

大まかには上述の内容で進行していきます。

2024/4/14

<その他>

・第2回ミーティング時に、南区補助金申請はしないのか？との質問がありました。

4月10日に正式申請しましたが、結果は来週になる予定。

以上

デジタル研究会 会長 伊藤孝行

moto-ohka@moto-ohka.jpn.org